

## 2024 年度事業報告

### I 事業実施状況

#### 【I ジュエリーデザインの公募に関する募集、審査、授賞対象の発表、表彰に係る事業（公益目的事業1）】

1964 年創立当初から概ね隔年で 32 回に亘り開催してきた公募展を発展させ、ジュエリーデザインのより高度な振興を図る。ジュエリーを素材価値だけでなく造形分野として、広く実作品を公募し、審査・表彰することにより日本のジュエリーデザインのレベルアップを図り、国際的な地位確立と次世代の人材育成を目的としている。

2024 年度は、前回にひき続き海外部門を設け 2023 年に行った「第 33 回公募 2024 日本ジュエリー展 JAPAN JEWELLERY COMPETITION」の募集と審査を経て展覧会を開催し、本事業及びジュエリーデザインの普及啓発を図った。

##### (1) 応募要項発表・審査

2023 年夏に「第 33 回公募 2024 日本ジュエリー展」の応募要項の発表を行い、ホームページ掲載および SNS での国内外への発信をはじめ、全国諸機関への告知、プレスリリースの実施等により広く公募を行った。

応募締切りを 2024 年 3 月初旬とし、3 月中に審査を実施して、終了後速やかに応募者に審査結果を通知した。

- ・ 応募内容 ジュエリーの持つ役割は時代とともに進化していきます。新しいデザインや素材の魅力、それを引き出す確かな技術は、一般的な装身具の枠を超え一つの文化として人の心を飾ります。心を動かすジュエリーの可能性を秘めた作品を公募します。
- ・ 選考基準 創造性があること／独創的であること／提案性があること／素材及び技術が的確であること
- ・ 日程 公募開始 2023 年 9 月 応募登録締切 2024 年 3 月 8 日（海外部門 2024 年 2 月 1 日）  
作品締切 2024 年 3 月 19 日 審査日 2024 年 3 月 26 日
- ・ 審査員長 長井豊
- ・ 招待審査員 福田哲夫（産業技術大学院大学名誉教授 エイアンドエフ株式会社顧問）  
本間恵子（ジュエリージャーナリスト）
- ・ 協会審査員 平子公一／稗田麻琴／澤本雅子／藤本奈穂子
- ・ 応募者総数 336 名・全 763 点 入選者総数 188 名・468 点
- ・ 部門別内訳 一般部門 応募107名 入選42名／under26部門 応募64名 入選30名  
JJDA 会員部門 応募84名 入選76名／海外部門 応募82名 入選40名
- ・ 受賞者 大賞 1 名 佐藤寛朗（リング 5 点／JJDA 会員部門）  
優秀賞 2 名／under26 部門賞 1 名／海外部門賞 1 名／招待審査員賞 2 名／  
60 周年記念 JJDA 特別賞 1 名／奨励賞 6 名／日本ジュエリー協会（JJA）賞 1 名

##### (2) 主催、後援等

- ・ 主催 公益社団法人日本ジュエリーデザイナー協会
- ・ 後援 経済産業省/文化庁/公益財団法人日本デザイン振興会/一般社団法人日本ジュエリー協会  
公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会/公益社団法人日本インテリアデザイナー協会  
公益社団法人日本グラフィックデザイン協会/公益社団法人日本サインデザイン協会  
一般社団法人日本空間デザイン協会/公益社団法人日本パッケージデザイン協会  
一般社団法人総合デザイナー協会/日本経済新聞社
- ・ 協賛 一般社団法人日本ジュエリー協会/相田化学工業株式会社/石福ジュエリーパーツ株式会社

インフォーママーケットツジャパン株式会社/栄光時計株式会社/株式会社桑山/株式会社鈴峯  
株式会社ナガホリ/株式会社波部商会/プラチナギルドインターナショナル株式会社

以上を経て2024年6月に東京都美術館にて「第33回公募2024日本ジュエリー展 JAPAN JEWELLERY COMPETITION」を開催した。また、会期開始と同時に出品作品の図録カタログを制作し来場者、出品者に販売、海外部門出品者へは、送付し、関連団体、学校関係へは配布寄贈した。

・ 会場会期

東京都美術館 1階 第3展示室

2024年6月8日(土)～6月13日(木) 9:30～17:30 (入場17:00迄、最終日入場13:00迄・閉会13:30)

東京都台東区上野公園 8-36 TEL03-3823-6921

・ 入場料 一般1000円 学生500円

・ 展示内容 入賞及び入選作品 188名、468点

・ 授賞式 日時 2024年6月8日(土) 16:00～16:30

会場 東京都美術館 1階 第3展示室・会場 東京都美術館公募室

・ 入場者数 約2,000名

・ 展覧会カタログ 一部2,500円

## 【Ⅱ ジュエリーデザインに係る調査研究及び人材育成に関する事業（公益目的事業2）】

ジュエリーは生活に潤いを与え活性化させ、さらに心の拠り所として改めて人々の関心を集めており、生活に果たす役割などを研究する価値は大きい。

一般初心者へは、デザインとものづくりの体験講座を開催しジュエリーへの関心を高める。中級者へは、ジュエリーの歴史、文化、海外事情に関する専門家による講演会を開催し、知識を深めることにより、最終的にプロへの道を拓くべく人材育成のステップアップを図るとともに、ジュエリーデザイナーとしてのスキルアップを図る。

また、各展覧会会場に於いてアンケート調査を実施し、これからの日本のジュエリーのあり方を探っていく。

国際的課題である知的財産権に関しては、ジュエリーデザインの分野での産業財産権及び著作権等に係る諸問題を調査研究し、デザイン価値の重要性を社会に発信していく。

### (1) セミナー・講演会

ジュエリーの文化、発達史をグローバルに研究する専門家を招いて講演会及び初心者向け体験講座並びに技法の実技講座を行う。

#### ① JJDA 講座 2024 開催

・ 「タキライヨウコ氏・オンラインセミナー+オンライン工房見学」

日 時：2024年7月17日(水)18時～20時

会 場：ZOOM ウェビナー (アーカイブ視聴実施)

講 師：タキライヨウコ氏(イタリア フィレンツェ在住の日本人作家)

定 員：100名

受講料：一般¥2,500 学生¥500 JJDA 会員¥2,000

参加者：83名(会員44名・一般27名・学生22名)

担当：支部事業委員会近畿支部

・「秋田銀線細工・実技セミナー」

開催日時：2024年10月27日(日) 9時30分～

場所：秋田公立美術大学

講師：秋田市指定無形文化財保持者 進藤春雄先生

講座内容：銀線細工技法によるペンダント制作

受講料：一般 ¥7,000 学生¥3,500 JJDA 会員 ¥5,500 (材料費含む)

参加者：20名(会員9名・一般9名・学生2名)

担当：支部事業委員会東日本支部

・「70年代を代表する企業内デザイナー」へのインタビュー

日時：2025年1月21日(火)14:00～

場所：事務局

担当：調査研究・育成事業委員会

参加者：5名

(2) 知的財産権の研究と推進

意匠権、著作権などジュエリーデザインにおける知的財産権に関し、その重要性を啓発する。

①事務局保存の創作保全に関する資料「ジュエリー110番」の見直しと改訂版の作成(継続)

②ホームページ上において公開し普及推進する(継続)

③メルマガ等にて継続的に記載し啓発する

日本デザイン団体協議会(D00) / JDM 委員会への共同参加事業としてジャパンジュエリーデザインについてジュエリー史を調べ、過去の優れたデザインを研究し、資料作りを進める

(3) 講師派遣の実施

自治体、企業、団体、教育機関等及び海外からの要請に対応し、会員を講師として派遣してジュエリーデザインに関する講義や実技指導を行う。

① 「第18回糸魚川翡翠ジュエリー・アクセサリデザイン画コンテスト」(主催：糸魚川翡翠デザイン画コンテスト実行委員会 構成 糸魚川法人会、糸魚川商工会議所他)への審査の協力を行った。

審査 2024年12月19日(木) 長井豊、星野学

② 専門学校ヒコ・みずのジュエリーカレッジ教育課程編成委員 2024年4月1日～2026年3月31日 長井豊

**【Ⅲ 国内外の優秀なジュエリーデザインを展示及びジュエリーデザイン情報の発信をすることにより、人々の生活文化の向上に寄与する事業 (公益目的事業3)】**

国内各都市の展示会場で最新のジュエリーデザインの実作品を展示することにより、人々の生活文化の向上を図ることを目的とする。

日本のジュエリーデザインの世界への発信を、さらに拡大し充実させるため、海外情報の収集とJJDAからの情報発信を推進し、交流を図り、国際相互理解の促進に努める。

ホームページによりジュエリーデザインに関する情報を、広く一般に提供し訴求活動を行う。

(1) ジュエリーデザインの展示等による普及・啓発

① 展覧会開催

「第33回公募2024日本ジュエリー展 JAPAN JEWELLERY COMPETITION」の併設展として60周年記念展を記念し、創立時の会員、創立時の会員のご家族、賛助会員、名誉会員、正会員に参加を呼びかけ、JJDDNA展として開催した。

参加正会員122名、特別参加21名(創立会員14名、名誉会員7名)の作品も特別展示され、更に賛助会員の画像での紹介が行われた。

(2) ジュエリーデザインに関する海外交流及び発信

海外交流事業の拡大を見据え、アジア、欧米の諸機関とのネットワーク形成を推進し連携を図る。

ホームページ等を中心とした協会及び日本のジュエリーデザインに関する情報資料を充実させ、相互リンクの拡大を図るなど、情報の発信の体制を構築する。

- ① 2024年度は、公募展、展覧会開催年であったため、公募展会場での海外作家のアテンド、海外作品の返送や図録の送付等を通じて、海外作家とのコミュニケーション促進を計った。

(3) 情報発信

ホームページ、SNSによりジュエリーデザインに関する情報を、広く一般へ提供する。

タイムリーに公募事業・展覧会のインフォメーションについて発信する。

- ① JJDA ホームページの内容を充実すると共にインスタグラム他 SNS を活用する  
② ホームページ、各種 SNS 運営にあたりセキュリティ対策の勉強会を実施  
③ ジャパンジュエリーフェア2024においてセミナーを開催し、協会事業を公知した。

会期 8月30日(金) 13:00~15:45

会場：東京ビッグサイト東1ホール イベントスペース

講師：三木稔

内容：「CAD・CAMを使った新しいリングのデザイン」

- ④ プレスリリースによるメディアへの働きかけ強化  
⑤ ジュエリーデザインに関するデータベース構築  
⑥ JJDAパンフレットを改訂し協会広報ブースで配布、周知した。

## 【IV その他事業】

(1) 会員相互の交流事業

会員相互の交流を活発化し、長年在籍する会員から若年層への創作技法の伝承、見学会などを通して情報交換を行う。

- ① 「JJDA 創立60周年記念レセプションパーティー」開催

日時：6月8日(土)17:30~19:30

会場：東京都美術館中央棟2階レストランミューズ

参加者：116名

- ② ZOOMを使って全国の会員をつなげる「フリートークの場」開催

第1回：5月24日(金)19時~ 参加者11名

第2回：9月13日(金)19時~ 参加者10名

第3回：3月14日（金）19時～ 参加者15名

(2) 会報「FROM JJDA」発行 年3回及び「メルマガ from JJDA」事務局編集・発行  
各委員会、事務局からの事業準備及び報告や会員情報等を会員へ速やかに伝える。

(3) 内外ジュエリーデザインに関する関連団体との連絡及び協調

① 日本デザイン団体協議会（D00）への参加

D00 運営会議、デザイン保護研究会、及びジャパン デザイン ミュージアム設立研究委員会等への参加

D00JDM 4/19, 5/22, 6/19, 7/11, 8/21, 9/18, 10/16, 12/5, 12/26, 1/28, 2/19 西澤

D00 デザイン保護 6/15 西澤、6/23 12/20 佐藤、西澤、2/21、10/16 早稲田大学構内カンファレンス三田村(登壇)

「2024 特許情報フェア」東京ビッグサイト 10/2～4 参加

D00/HUB 合同イベント「ROOTS OF FUTURE」トークイベント参加 10/20 長井（登壇者）

D00 運営会議 5/21 長井、西澤 7/29 西澤、星野 9/17 長井、西澤、高橋 11/19 西澤、高橋 1/20 長井、西澤

3/19 長井、西澤、星野

D00 合同イベント特別委員会 3/19 長井、星野、西澤

D00 事務局会議 4/24、8/26、11/11、12/23

② JJF 参加 8/28 長井

③ JJA アワード委員会 彦根

④ 祝賀交換会 1/22 長井

(4) 国内外の諸団体の事業への後援・協賛・協力

2024年

4月10日～4月12日 山梨ジュエリーフェア 2024

主催：インフォーマ マーケッツ ジャパン株式会社、協同組合山梨ジュエリー協会

5月24日～5月31日 ワールドインテリアウィーク 2024 インジャパン

主催：公益社団法人日本インテリアデザイナー協会

6月5日～7月25日 募集期間、11月25日 贈賞式

第3回【日本パッケージデザイン学生賞】 主催：公益社団法人日本パッケージデザイン協会

8月28日～8月30日 ジャパンジュエリーフェア 2024

主催：一般社団法人日本ジュエリー協会、インフォーママーケッツジャパン株式会社

9月4日～6日 第98回東京インターナショナル・ギフト・ショー秋 2024 第16回 LIFE×DESIGN

主催：株式会社ビジネスガイド社

9月12日～13日 第66回大阪インターナショナル・ギフト・ショー

主催：株式会社ビジネスガイド社

9月24日～29日 ジュエリーの新しい風景展 in 金沢 vol.1.5

主催：小早川 真理子

10月16日～10月22日 第57回日本七宝作家協会国際展(公募)

主催：公益社団法人七宝作家協会

10月31日 第26回福岡デザインアワード

主催：福岡県産業デザイン協議会

11月29日～12月1日 New Jewelry TOKYO 2024 JJDA ブース

主催：New Jewelry LLC

12月14日～12月22日 19th ライティングオブジェ 2024(協力事業)

主催：株式会社イルミナティ ライティングオブジェ制作委員会

2025年

2月12日～14日 第99回東京インターナショナル・ギフト・ショー春2025 第17回 LIFE&DESIGN 主催：株式会社ビジネスガイド社

3月12日～13日 第6回京都インターナショナル・ギフト・ショー2025 主催：株式会社ビジネスガイド社

**【V 管理等】**

- (1) 会議開催
  - ① 総会開催 2024年5月30日、(本人出席5名、委任状出席163名) ウェブ開催
  - ② 委員長会議・委員会会議
    - ・事業の各委員長による会議開催。2024年11月18日
    - ・各委員会及び各担当による会議開催。計 年約55回程度
- (2) 諸規程の整備
- (3) 会員情報管理 (継続)
- (4) 会員章碑の作成 (継続)
- (5) 協賛店の整備と拡大
- (6) 正会員・賛助会員入会促進の検討
- (7) 一般への情報提供サービスの検討
- (8) 予算書・決算書作成
- (9) 素材表記の検討・精査
- (10) 会費納入の徹底

## Ⅱ 会議開催状況

	期日	会場	出席数
1. 総会	第13回定時総会 2024年5月30日	ウェブ開催	168名（本人出席5名 委任状出席163名）
2. 理事会	第83回定例理事会 2024年4月23日	Zoom会議	理事12名 監事2名
	第84回定例理事会 7月25日	Zoom会議	理事12名 監事3名
	第85回定例理事会 10月22日	Zoom会議	理事11名 監事3名
	第86回定例理事会 1月30日	Zoom会議	理事11名 監事3名
	第87回臨時理事会 3月4日	Zoom会議	理事11名 監事2名
2. 委員長会議	第1回委員長会議 2024年11月18日	Zoom会議	15名
3. 委員会	〈開催日〉		
公募展委員会	5/7、5/21、6/6、6/7、6/14、6/27、8/21、8/22、8/26		
調査研究育成事業委員会	6/17、6/20、6/25、7/23、7/26、8/6 9/26、11/26、1/21、1/29		
支部事業委員会	4/24、7/3 近畿、7/13 近畿、8/21、1/9、1/27 中部 2/19 東日本、2/27 近畿		
内外展示交流事業委員会展覧会担当	5/9、5/23、6/3、6/4、6/14、8/8		
内外展示交流事業委員会海外交流担当	6/20、6/25、7/4、8/19、11/25		
広報委員会	7/27、7/28、9/20、11/22、3/24		
総務管理委員会	4/17、4/30、5/1、5/2、5/14、5/28、6/7、9/10、11/29、12/16		
選挙管理委員会	12/10、1/22、2/27、3/26		

以上

### Ⅲ 2024 年度会員異動状況

#### 【入 会】(2024 年度入会承認)

会員別	2024 年 4 月 1 日	2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日		2025 年 3 月 31 日
		入会	退会(逝去含む)	
正会員	242	2	24	218
賛助会員	22	1	2	21
名誉会員	8	0	0	10
合計	272	3	26	249

#### ◇正会員

倉田逸子、宮澤淑恵

#### ◇賛助会員

株式会社 光・彩

#### 【退会】

#### ◇正会員

朝倉 眞理、麻生 晃希、飯野 喜美子、市原 富士子、井村 裕司、植草 洋子、柏原 エリナ、剣持 由美子、坂入 ふみ子  
坂元 勝彦、芝田 悦美、関戸 千友世、千手 あづさ、高木 千菜、千葉 苑子、土屋 慈子、津守 幾久子、名執 左結里  
浜田 登代、藤井 恵子、松沢 安行、村松 真、山田 嘉和

#### ◇賛助会員

三田陽子、澁谷深幸

#### 【物故】

#### ◇正会員

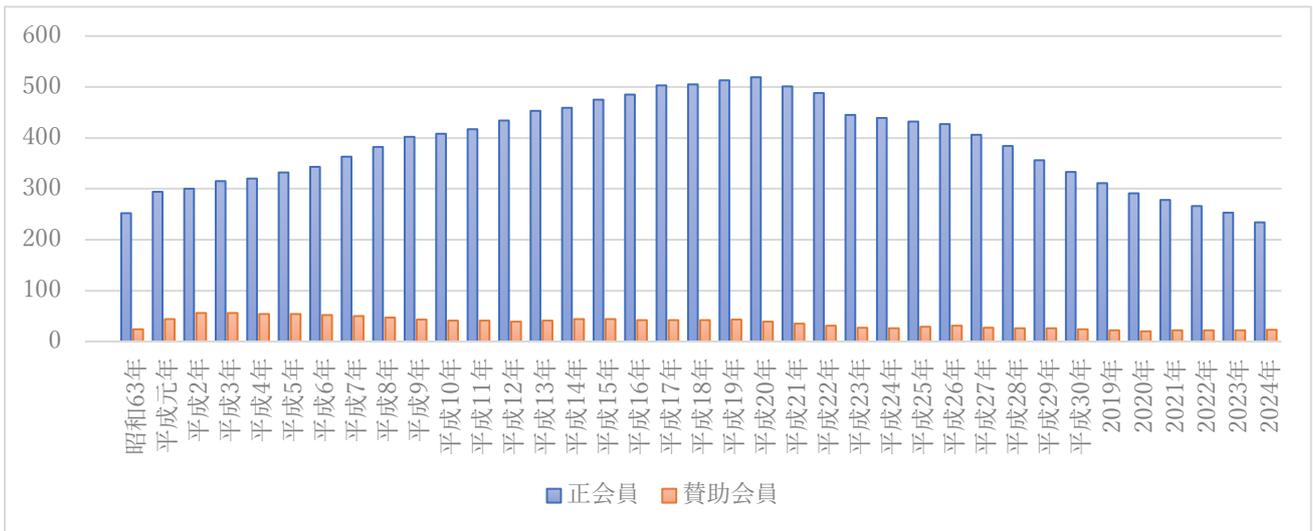
日野三恵子 (2023 年秋ごろ逝去)

#### IV 会員数推移

(社団法人化以降)

平成16年度より名誉会員含む

年度末	正会員	賛助会員	年度末	正会員・ 名誉会員	賛助会員
昭和63年	252	24	平成19年	513	43
平成元年	294	44	平成20年	519	39
平成2年	300	56	平成21年	501	35
平成3年	315	56	平成22年	488	31
平成4年	320	54	平成23年	445	27
平成5年	332	54	平成24年	439	26
平成6年	343	52	平成25年	432	29
平成7年	363	50	平成26年	427	31
平成8年	382	47	平成27年	406	27
平成9年	402	43	平成28年	384	26
平成10年	408	41	平成29年	356	26
平成11年	417	41	平成30年	333	24
平成12年	434	39	2019年	311	22
平成13年	453	41	2020年	291	20
平成14年	459	44	2021年	278	22
平成15年	475	44	2022年	266	22
平成16年	485	42	2023年	253	22
平成17年	503	42	2024年	228	21
平成18年	505	42			



2024年度事業報告には、附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

(2025年3月31日現在)